

「龍ヶ崎市文化会館指定管理サウンディング型市場調査」実施結果の概要

1. 調査の目的

文化会館は、地域社会の芸術文化の向上を図ることを目的として設立され、市民の文化芸術活動の拠点として活用されている。平成 20 年度から指定管理者制度を導入しており、現在は、公益財団法人龍ヶ崎市まちづくり・文化財団が令和 8 年度まで受託している。

前回指定管理者更新時に指定管理者選定委員会において民間公募も含めた指定管理者の選定を検討し、指定管理期間を5年から3年にしたことにより、令和7年度に仕様書等の作成をする必要がある為、民間事業者の参入意向や幅広い意見・提案の確認のためにサウンディング型市場調査を実施するものである。

2. 実施経過

- 令和6年10月18日 実施要領の公表
- 令和6年10月22日～11月22日 現地見学会【参加者数:4者】
- 令和6年11月 19日～12月 6日 サウンディング(対話)【参加者数:5者】

3. サウンディング(対話)参加者の業種

- 指定管理運営
- 施設維持管理

4. サウンディング(対話)における調査結果

- 参入意向→5者すべて前向きに検討
- 参入形態→単独もしくは、共同事業体(JV)
- 主な提案内容
 - 指定管理者制度による施設運営について
 - ◇ 文化施設としてのイベント(芸術祭など)で会館の貸出しができない期間については、市の施設設置ポリシーに基づく部分であると考えため、期間の指定は考えない。
 - ◇ 高齢者の継続利用を確保し、若年層の利用促進を図るそれぞれのイベント企画
 - ◇ 各ホールを使った、今まで非利用者だった層を取り込む柔軟な利用法の検討。
 - ◇ 開館時間のフレキシブル化。
 - 公募条件に関すること
 - ◇ 仕様は機能発注(回数の指定ではなく、機能や性能で仕様を組む発注)がよい。
 - ◇ 継続雇用について、他の事例ではヒアリング等を行い希望者は雇用をしている。
 - ◇ 施設の維持管理の点から、耐用年数などによって改修していくことを仕様書等に記載することでコストカットが可能。
 - ◇ 公募期間は入札公告から提案書提出まで6～8ヶ月が必要。

など

など

➤ 効率的な維持管理運営の提案について

- ✧ 大ホール座席改修は数が減少するなら費用対効果を考慮したほうがよい。
- ✧ 大ホール座席は改修できるならして、座席間のスペース確保をし、使いやすくしたほうがよい。
- ✧ 施設、設備は更新が一番良い。修繕に関しては、ユニバーサルデザインなどを考慮してもらいたい。予防保全などは民間の方がノウハウを持っており、使いやすいように運用していける。

など

➤ 運営手法等について

- ✧ 指定管理料のなかで、自主事業予算を指定してもらえると計画が立てやすい。
- ✧ 指定事業(市が主催するものや、文化芸術の事業など)の明記をしたほうがよい。
- ✧ 指定管理料の設定は近年の材料費や人件費の上昇などは考慮してほしい。
- ✧ 企業共同体(JV)を組む企業によって、強みが変わってくるため柔軟に対応ができる。
- ✧ PFI 方式(公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法)の検討もあってよいと思う。
- ✧ メンテナンスを主として行っているため、総合的な施設設備管理は自社で対応可能。

など

➤ その他

- ✧ 会館の使用料については市の考え方による。
- ✧ 大規模工事を行う際の休館対応について
- ✧ 民間の場合は他の事例での実績があるが、いままでの地元のつながりと組み合わせることが必要になる。
- ✧ 直営からの引継ぎで仲介役が機能しなかった事例がある。

など